

令和元年度第3回東葛南部地域保健医療連携・地域医療構想調整会議 開催結果

1 日時 令和2年2月7日（金）午後7時から午後8時30分まで

2 場所 船橋市保健福祉センター 2階会議室

3 出席委員

○総数29名中26名出席

伊藤委員、寺田委員、豊崎委員、石川委員、熊川委員、石井委員、尾崎委員、杉山委員、上田委員、神山委員、西田委員、卜部委員、丸山委員、新井田委員、井上委員、春山委員、座間委員、寺島委員、檜舘委員、塙委員、原委員、本間委員、醍醐委員、筒井委員、坂本委員、杉戸委員

4 会議次第

(1) 開会

(2) 習志野健康福祉センター長あいさつ

(3) 議事

平成30年度病床機能報告について

(4) 報告

ア 2025年に向けた医療機関毎の具体的な対応方針について

イ 公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等について

ウ 介護保険事業（支援）計画の進捗状況等について

エ 東葛南部地域の地域医療に係る課題の調査結果

(5) その他

ア 東葛南部地域保健医療連携・地域医療構想調整会議小委員会の進め方について

イ 次世代医療構想センターから資料説明

(6) 閉会

5 議事概要

平成30年度病床機能報告について

○事務局説明

資料1により県健康福祉政策課 須賀地域医療構想推進室長から説明

○意見交換・質疑応答

(委員)

昨年来からお話をしています現在の東葛南部地域における回復期リハビリテーション病床数が、いわゆる需要と供給という段階で考えると、もう妥当な飽和状況でないかということの数字が計算式でもきちっと出されたという状況だという風に認識しております。ですから、現在の病床数を超えて回復期リハビリテーション病棟を増やしてい

くという状況ではもうないかというのを今回の結果で頂いているかと思います。

(回答)

ありがとうございます。そういったご意見をいただき、あくまでいろいろ不確定要素がある中での試算でございますが、目安としてお考えいただいている。ということでご意見いただいたということでございます。よろしいですか。

6 報告概要

(1) 2025年に向けた医療機関毎の具体的な対応方針について

○事務局説明

資料2により県健康福祉政策課 須賀地域医療構想推進室長から説明

○意見交換・質疑応答

特になし

(2) 公立・公的医療機関等の具体的な対応方針の再検証等について

○事務局説明

資料2・3により、県健康福祉政策課 須賀地域医療構想推進室長から説明

○意見交換・質疑応答

(委員)

公立・公的医療機関等ですけど、民間病院にもこういったものをやるというお話は聞いていて、実際に東京都の方ではいくつかの民間病院に、お宅はこれに当てはまっているよという指示が東京都から届いているというのは聞いているんですけど、千葉県の方では国の方から届いているのでしょうか。

(回答)

民間の病院につきましては、国の方で現在まだ検討しているということで、県の方に情報は一切来ておりません。

(委員)

千葉県には降りてきていないということですね。東京都に降りてきたのはなぜかというのは、よく分からないということですね。分かりました。

あともう一点、横長の表の中に東葛南部の枠に公立・公的病院が書かれていますけど、順天堂浦安病院が載っていないのは、どういった理由か教えていただければと思います。

(回答)

なぜ載っていないのか、正直なところこちらがよくわからないんですけど。基本的には、29年度の病床機能報告を出した時点で、公立・公的医療機関と地域医療支援ですか、そちらの方になっているところは対象になっている。あくまで29年度時点でございます。実際に他の圏域、例えば市原の帝京大学ちば総合医療センターはこちらの分析の対象には、確か載っていなかったのではないかと思います。地域支援の方が確か遅かったので、29年度時点では載っていなかったということでございます。

(3) 介護保険事業（支援）計画の進捗状況等について

○事務局説明

資料3により県高齢者福祉課 田村介護保険制度班長から説明

○意見交換・質疑応答

特になし

(4) 東葛南部地域の地域医療に係る課題の調査結果

○事務局説明

資料5により、事務局 習志野健康福祉センター企画課 高橋課長から説明

○意見交換・質疑応答

特になし

7 その他

(1) 東葛南部地域保健医療連携・地域医療構想調整会議小委員会の進め方について

○事務局説明

資料6により、事務局 習志野健康福祉センター企画課 高橋課長から説明

○意見交換・質疑応答

(出席者)

事務局一任

(2) 次世代医療構想センターから資料説明

当日配布された資料より、次世代医療構想センター 佐藤副センター長から説明

○意見交換・質疑応答

特になし

会長より、会議全体を通してのご意見・ご質問等を伺った。

(委員)

報告(1)の医療機関毎の具体的な対応方針についての中で、鎌ヶ谷総合病院さんのHCUの増床の件ですが、定量的基準に基づく病床機能の推計でも、(H30.7.1時点の)高度急性期の病床機能報告でも多いという中で、この急性期(病床)を増やすというのを認めるということはいいのかなと思ってしまったのですが、このところはあまりどうこう言いませんが、少し気になるのは、病床機能を変更する理由のところ「鎌ヶ谷市内の病院では高度急性期機能を有している病院は当院のみで」という、この記載です。市内のみ、という記載は、やはりこの地域医療構想の中で出されているということは、なかなか今後は受けにくくなっていくのではないかと、思います。実際、ここでは非常に高度なHCUの稼働率が高いですし、救急車も半数以上が鎌ヶ谷以外から来ているわけですね。ですから、あまりやはり市内、市内ということを経路にこういうところ

に文章として残すというのは、地域医療構想調整会議としてはいかなものか、と思いましたが、発言させていただきました。

(会長)

事務局どうでしょうか。

(回答)

ご意見ありがとうございます。おっしゃるとおり当然市内だけで完結するものではないので、今後そういったところも含めて県の方でも見ていきたいと思っております。

(※資料1、2については配布資料を修正してホームページに掲載)

8 閉会